



会員の輪

「オトコ目線の男女共同参画」

げんごう 言行ふいっち族
ふくままきひさ 福間正久(出雲市)

私たちが「言行ふいっち族」を結成したのは平成21年。メンバーは男性5名で、住んでいる地域も職業や所属団体も様々ですが、お互いの個性や経験を活かしながら、男性の参加が極めて少ない男女共同参画のイベントに積極的に参画しています。オトコ目線の発言と行動をネライとして行っている活動の様子を紹介します。

* 男女共同参画?今こそ語ろう男の本音*

発足して間もない私たちは、平成21年に開催された「あすてらす開館10周年記念フェスティバル」の分科会で、それぞれに、家庭や地域の男女共同参画の課題について、男性の視点で語りました。

* オトコの井戸端会議「男の自立は食から」*

「情報Market」第17号(2009年12月発行)で、「食」をテーマに、日常生活や家族への思いを語る紙上会議を企画しました。話題は「オトコ5人、料理との出会い」「妻と夫と料理のさんかく?関係」「食から始まる、はじめの一步」妻は多少手抜きをしても亭主を賈ける「いい意味での悪妻」になったほうが男性の自立を促すという話で盛り上がりました。

* わたしの男女共同参画つづやき日記*

平成22年の「あすてらすフェスティバル」では、メンバーの光田さんが「男もつらいよ...嫁・姑のいたばさみ!」私が「定年男性、生かすも殺すも妻次第」と題したつづやきを発表。会場のみなさんが頷いたり笑ったりしている様子がうかがえ、男女共同参画をより身近に感じてもらえる機会となりました。

* 男性のための生活自立支援セミナー*

しまね女性センターは、平成21年から3年にわたり、男性の生活者としての自立を図る、衣・食・住・育児・介護をテーマとした連続講座と今後のより良い生き方や暮らし方を考えるライフプラン応援セミナー等を実施。そこでは受講者として参加したり、自らの体験を発表す

るシーンもありました。それらの集大成となる「ピフォー&アフター報告会」が昨年12月に行われ、司会進行は私たちメンバー全員で担当しました。

* あすてらすコレクション*

今年の「あすてらすフェスティバル」では、「男性のための生活自立支援セミナー」受講者5名のみなさんが、セミナー受講前後の意識の変化をファッションショー形式で発表&表現。司会はメンバーの光田さんが、コメンテーターは座長の日高さんが担当しました。

このように、私たちは少人数ではありますが「あすてらすフェスティバル」や「男性のための生活自立支援セミナー」の運営に関わり、男性不在となりがちなイベントに風穴を開けることができたと思っています。

今後は、若い世代や各地域からもさらにメンバーを募り、男女のバランスのとれた共同参画、よりきめの細かい共同参画の推進に一役かうことができればと考えています。



「ピフォー&アフター報告会」で正装したメンバー
(写真左から)座長の日高勝明(邑南町)、福間正久(出雲市)、光田浩己(松江市)、石橋剛之(大田市)、河部安男(江津市) 敬称略



〔分類番号：91ナ〕

こんな私が大嫌い！

中村うさぎ / 著

イースト・プレス (2011/10)

美容整形体験や買い物依存などを公表してきた著者は、「自分嫌いのプロ」。それだけに、長年の考察や分析には説得力がある。「自分のことを好きでいたい」と思うからこそ、私たちは「自分嫌い」にとらわれていく。自分でかけた「自分嫌いの呪い」に気づき、自分を解放する勇気を与えてくれる。

(まゆ)



〔分類番号：36タ〕

しあわせに働ける社会へ

竹信三恵子 / 著

岩波ジュニア新書 (2012/6)

就職活動に苦しむ学生や過酷な労働で働き続けることができない若者たちへ贈る一冊。誰もがしあわせに働ける社会とはなにか、「働くこと」を具体的にイメージできるわかりやすい語り口で提言している。「しあわせに働ける社会」の実現に向けて何をしたらいいのか、何ができるのか、働く姿勢を見つけるためのヒントになる良書である。

(なな)



〔分類番号：93マ〕

みにくいおひめさま

フィリス・マッギンリー / 著

まさきりこ / 訳

なかがわそうや / 絵

瑞雲舎 (2009/3)

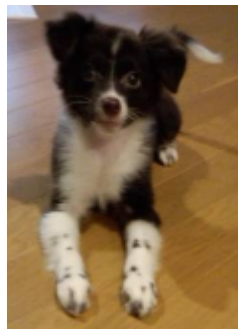
ただひとつのことを除けば、世界一幸せなおひめさま。それは「美しくない」ということ。傲慢でわがままな「みにくいおひめさま」だが、5人の娘を持つ女性の家族と日常生活を過ごす中で少しずつ変わっていく。自分のことは自分でする、家のお手伝いをする、いとおしく思う幼い友へ自分の大切なものをプレゼントすると...。本当の美しさとは何か、児童書でも十分に読み応えがある。(白くま)

information

情報ライブラリーでは、所蔵資料を紹介する目的で毎月テーマを決めて書籍等の展示・貸出を行っています。11月のテーマは「DV(ドメスティック・バイオレンス)～暴力を許さない社会へ～」です。テーマ展示や新着図書、DVD等の情報はホームページで随時お知らせしています。どうぞご利用ください。
<http://www.asuterasu-shimane.or.jp/lib/>

**編集委員の
フリートーク**

お盆に家族になった犬が今4ヶ月。チワワの雑種です。64gで生まれたのでルーシー(中国名)。母親も兄弟も出産で他界。彼女だけが命を取り留めました。なので、親の愛情を知りません。現在、排泄の訓練中ですが、これが思いのほか大変。成功すればほめ、失敗しても出た

**我が家の男女共同参画
～夫と二人で犬のしつけに奮闘～**

ことをほめる。更に、ルーシーには自分のウンチを食べる習性があり、4時間以上は置いて出られず、夫と二人で時間をやり繰り返して奮闘中...。躰は犬も人間も大差ありません。

我が家の男女共同参画は、犬のお陰で徐々に成り立っています。(はっしー)

*** あなたの情報
をお待ちして
います！**

本紙の内容について、ご意見、ご感想をお寄せください。また、みなさまの活動についての情報や報告等もお待ちしております。住所・氏名(グループ名)・電話番号を明記の上、郵送、FAX、メールにてお送りください。原稿は400字以内、イラスト等は葉書大以内でお願いします。掲載させていただいた方には、500円分の図書カードをさしあげます。

送付先、お問い合わせは、(財)しまね女性センター 事業課まで

